

信楽高原鐵道の早期全面復旧を求める要請署名

甲賀市長 中嶋 武嗣 様

要 請 趣 旨

信楽高原鐵道は、9月16日の台風18号による豪雨災害により、貴生川駅近くの柚川橋梁の橋脚と橋げたが流され、この日以降、列車の運行が停止したままとなり代行バスの運送が始まっています。

信楽高原鐵道は、今年で開設80周年を迎えます。

1933年(昭和8年5月)開設して以来、戦時中の昭和18年、戦況悪化に伴い、レールや枕木の供出を強いられ営業停止。戦後、町民総出で3,000本の枕木を敷き、線路が再敷設され1947年(昭和22年)に復活にこぎつけたことや、昭和40年代の国鉄経営再建・解体に合わせた信楽線切り捨てに対して、「乗って残そう信楽線」を合い言葉に守りぬいてきました。

それこそ町民の「汗と涙の信楽線」です。そして、今年4月からは、上下分離方式として、新しい道を歩みはじめたところでした。

「線路のない地域の過疎化はすすむ」と言われます。信楽高原鐵道の復旧をないがしろにして廃線の道を歩ませることは断じて許されません。

甲賀市は、国と県に対して「技術的・財政的」支援を求め早期全面復旧に努めることを強く求めます。

要 請 項 目

1. 甲賀市は、信楽高原鐵道の早期全面復旧の立場を堅持して下さい。
2. 国と県に対して「技術的・財政的」支援を求め、早期全面復旧に努めて下さい。

氏 名	住 所

【取り扱い団体】 信楽高原鐵道の早期完全復旧を求める会

代表 奥田 義邦 信楽町牧320 電話 83-0573